



[発行] 中央区議会
中央区築地一丁目1番1号
[電話] 3543-0211(大代表)
[中央区議会ホームページ]
<https://www.kugikai.city.chuo.lg.jp/>

ちゅうおう —Chuo City Assembly—

区議会だより

第1回定例会



令和6年(2024年)
No. 264



令和6年度各会計予算を可決

総額は1,615億1,633万9千円で、前年度当初予算に比べ7.8%、136億8,527万2千円の減額となりました。(6・7面)

中央区立子ども家庭支援センター条例の一部を改正する条例などを可決

補正予算、条例の制定、指定管理者の指定などを原案のとおり可決・同意しました。(8面)

晴海区民センター

主な内容

- 一般質問
..... 2面～4面
- 委員会の活動
- 令和5年第2回臨時会のあらまし
- 請願
..... 5面
- 予算特別委員会のあらまし
..... 6面・7面
- 議案等の審議結果
..... 8面

第1回定例会の経過

- | | |
|----------|--------------------|
| 2月27～29日 | 本会議 |
| 3月1日 | 企画総務委員会 |
| 4日 | 区民文教委員会
福祉保健委員会 |
| 5日 | 本会議 |
| 6日 | 環境建設委員会
企画総務委員会 |
| 7～25日 | 予算特別委員会 |
| 28日 | 本会議 |

提出された議案等

- ◆区長提出議案
 - ・条例..... 24件
 - ・予算..... 8件
 - ・契約..... 3件
 - ・任命同意..... 1件
 - ・その他..... 9件
- ◆その他
 - ・人権擁護委員の推薦..... 1件



区議会ホームページ
をご利用ください!

中央区議会では、区議会の活動状況を広く区民の皆様にお知らせするため、ホームページを開設しています。会議録の検索や本会議および各委員会の日程などがご覧いただけますので、ぜひご利用ください。



一般質問の要旨

一般質問とは
区の仕事全般について、区長等に報告や説明を求めることです。



中央区民クラブ
山本 理恵

子どもの生活の質の向上について

問 (1)学童クラブなどにおける弁当配食を新たに実施するにあたり、栄養バランスへの配慮やアレルギー食への対応、衛生・食品管理など、それぞれの施設での対応と課題、利用頻度の見込みは。(2)幼稚園における弁当給食についても見解を。

答 (1)学童クラブなどにおける弁当配食事業者の選定にあたっては、適切な衛生環境の確保に加え、メニュー構成やご飯の量の選択等も評価項目に含め決定。アレルギー食は提供できないが、メニューに含まれるアレルゲンを表示し、配達リスト等で対応する。

利用頻度は、昨年の夏季休業中における利用率と同程度の約26%を想定。(2)幼稚園における弁当給食の実施に際しては、厚生労働省公表の「日本人の食事摂取基準」を踏まえた献立の作成、卵・牛乳・乳製品除去食の提供、国際衛生基準であるHACCPの認証取得を求めている。利用頻度は、久松幼稚園での試行実績から、一日あたり3～4割の申込みが見込まれる。

問 家庭における共食の推進状況と課題、今後の方向性は。

答 令和4年実施のアンケート結果では、朝食を同居家族とほとんど毎日一緒に食べる頻度は全体で約44.7%、共食を「知らない」は全体の約46.4%であり、今後も区報や健診、講習会等の機会を捉えて、共食を広く周知していく。

問 子どもの成長を支える親力向上の取り組みと成果、課題は。

答 PTAや青少年委員、民生・児童委員等で構成する「中央区地域家庭教育推進協議会」にて年間70を超える学習会等を開催し、地域全体で家庭の教育力向上や温かい家庭づくりに向けた支援を推進。参加者が増加傾向にある一方で、父親の参加が少ないことが課題。今後もより参加しやすい学習会の提供に努めていく。



日本共産党中央区議会議員団
奥村 暁子

防災対策について

問 区民の95%はマンション住まいで、地域コミュニティ形成に課題がある中、共助頼みや自助努力では限界がある。区長の所信表明には公助という文言は一切ないが、公助の役割こそ重要では。

答 自助、共助、公助の取り組みが三位一体となって災害対応していくことが本区の防災対策の基本理念である。そのため、自助や共助頼みとする考えは有していない。

問 23区中18区では、木造建築物の耐震補強工事の助成対象を1981年以前の旧耐震基準ではなく、2000年以前に建築したものと

している。本区でも基準年度を見直し、対象を拡大しては。

答 次期改定予定の耐震改修促進計画において、耐震化の必要性について位置付けを行うなど、必要な対応を図っていく。

問 段ボールベッドの設置事例によると、発災後設置までに平均10日以上かかるが、(1)本区の備蓄状況と設置までの流れは。(2)欧米のように3日以内に設置できるよう整備が必要では。

答 (1)(2)防災拠点ではエアーマットと毛布を配布し対応する。避難の長期化が見込まれ、必要となる場合は協定事業者や都に要請して確保する。現在区としての備蓄について検討を進めている。

子育て支援策について

問 品川区では、絵の具や習字セットなどの学用品の無償化を発表したが、本区でも実施しては。

答 個人に帰属する物品は、基本的に教育委員会が設置者として提供する物ではないため、受益者負担が原則であると考えている。

その他質問事項 高齢者の居場所について



中央区議会立憲民主党
梶谷 優香

災害・防災対策について

問 (1)ペット同行避難の具体的な運営計画や実効性ある取り組みについて今後の方針を。(2)発災当初の混乱期における防災拠点でのペットの受入体制は。

答 (1)マニュアル未策定の防災拠点では策定に向けた協議を進めるとともに、訓練により実際の拠点内での動きや流れを確認し、現行マニュアルについて適宜必要な更新を行う。(2)円滑に行動できるように、スターターキットを全拠点に配備する。さらに、専門家の協力を得て、マニュアルの具体的な運用に関する検討を深め、

防災拠点運営委員会と実災害に即した運営方法を協議する。

福祉の充実について

問 男性へのHPVワクチン接種費用助成や小児インフルエンザ予防接種助成について、事業を実施していく考えは。

答 都の助成事業が予算案で示されたが、都や国の考えなど事業の詳細が明らかではないことから、引き続き情報収集に努める。

問 (1)要介護認定の申請から認定結果の判定が出るまでの期間は。(2)認定調査時のデジタル技術を活用したシステムの導入について考えを。

答 (1)令和5年度の平均は42.7日。(2)導入には、業務プロセスの見直し等の課題がある。区としては、令和8年1月の介護保険システムの標準化対応に合わせ導入を目指す。

その他質問事項 ①安全・安心・魅力あるまちづくりについて ②妊娠・出産～子育て環境の充実について ③教育環境の充実・学習活動の推進について

区議会のインターネット配信（録画配信）をご利用ください！

中央区議会では、開かれた区議会の一環として、一般質問および区長所信表明の録画映像をインターネットで配信しています。録画映像は、本会議終了後、おおむね6日後（土・日・祝日・休日を除く）からご覧になれます。区議会ホームページもしくは右のQRコードからアクセスできます。





中央区議会自由民主党議員団
海老原 崇智

区長所信表明について

- 問** 晴海に新たな区民を迎えることとなるが、人と人とのつながりによる対話を通じ合意が生まれる区政運営について、見解は。
- 答** 対面での対話などを通じた人々の直接のふれあいが合意形成の場となり、まちの活気やにぎわいを創出してきた。地域コミュニティの変化等により住民相互理解の希薄化が懸念されることから、区民主体のイベント等を活発に開催し、まち全体が顔なじみになれる場を提供していく。地域や世代、属性を越え、すべての区民がつながりを実感できるまちを実現していく。

日本橋の往時、銀座・築地の今、そして晴海の未来について

- 問** 地域への愛着の醸成、地域の歴史収集のあり方と支援、そして日本橋がもつ魅力を広報でどのように展開していくか。
- 答** 区内各地域の歴史に根付いた多彩な魅力の発信は、本区のP

Rにつながると考えている。地域への愛着心の醸成を目指すシティプロモーションの一つとして、まちの成り立ちや資源等を映像にまとめ区制80周年に向け発信することとしており、今後、区民が自ら地域の魅力を収集・発信する取り組みの促進を検討する。

問 本区の目指す回遊性の実現に向けた、銀座・築地・東銀座の各地域が跨った今後のまちづくりについて、展望や方向性は。

答 築地市場跡地開発と併せて東銀座への新たな歩行者動線を整備し、沿道に賑わい施設ができることで、銀座と築地を回遊させる結節点となる。また、跡地には車両と人流を分離する歩行者デッキを作り、新たな歩行者動線と隅田川テラスをバリアフリーにつなぐことで周辺地域との回遊動線を創り出したり、場外市場に必要な機能を充実するなど、現在多岐にわたる検討を進めている。引き続き、地元を含めた関係者との調整を迅速に重ねていく。

問 本区には150年以上の歴史や伝統を有する学校がある一方で、新たに開校する晴海西小中学校をどのように位置づけ支援するのか。また子どもたちにどのような教育を授けていくのか、考えは。

答 伝統と格式を有する学校と同様、地域とともに子どもたちを育み、その歴史を積み上げていくものと考えており、円滑にスタートできるよう、保護者と学校が連携し環境整備に努めていく。新校においては、人権問題や国際社会への課題意識、主体的に解決する資質や能力のほか、キャリア教育等の充実を図ることで、世界で活躍できる人材の育成に取り組むなど、子どもたちが未来に向けてたくましく羽ばたけるよう、惜しみなく支援していく。



中央区議会自由民主党議員団
太田 太

防災について

- 問** (1)能登半島地震について所感を。(2)晴海中学校生徒が参加した防災拠点訓練を振り返り、実施の意義と今後期待する効果は。
- 答** (1)日頃からの心構え、備えが非常に重要であると再認識した。自助、共助、公助が一体となって「災害に強いまち中央区」を実現していく。(2)災害への当事者意識が高まったほか、地域との交流など、座学で得られない意義深い体験であった。有事の際に地域の一人として活動できる人材に成長していくものと期待する。

異文化コミュニケーションについて

- 問** 文化の違いから生じる、本区での課題やトラブルへの認識は。
- 答** 外国人によるごみの放置や路上での座り込みなど、マナー違反が散見されるほか、地域からも日常生活でのトラブルを懸念する声が寄せられており、適切に対処する必要があると考えている。

情報モラル教育に関して

- 問** 本区の情報モラル教育の取り組みについて所感と課題は。
- 答** 警察や情報通信企業等と連携し、SNSの危険性に関する授業を実施するほか、安全なICTの利用等をテーマに保護者と教員が意見交換することで、家庭とも連携した情報教育の推進に努めている。これにより意識啓発が図られ、トラブルの未然防止に効果がある一方、利用を抑制する考え方に偏る傾向もあるため、情報モラルを着実に身に付け、適切に活用できる力を育てていく。

教科書採択に関して

- 問** (1)本区が目指す教育の方向性は。(2)教科書採択の流れと留意点は。(3)教科書採択に関する不祥事防止のための取り組みは。
- 答** (1)中央区教育振興基本計画2020に基づき、家庭や地域と緊密に連携しながら、未来をたくましく生き抜く人材の育成に邁進していく。(2)教科書調査委員会の報告や学校から提出された意見書だけでなく、区民からの幅広い意見等を踏まえ、教科書審議会の答申を参考に教育委員会が採択している。(3)利害関係を有する者や、特定の教科書発行者と関係を有する者を、審議会等の委員に選出しないよう調査を行うほか、発行者からの不当な利益供与となる具体例を委員や教職員に示すことで、未然防止に努めている。



かがやき中央
高橋 まきこ

子どもにもやさしい中央区について

- 問** ベビーシッター利用支援事業の月12時間まで等の利用制限を撤廃し、対象を小学校3年生まで拡大すべきと考えるが見解は。
- 答** 本事業は都内自治体の6割超が未実施であり、区民が制約を受けているとは考えていない。第三者の目が届かない等の懸念が

あるため、積極的に利用を推奨するものではない。

地域と共に学び合う中央区について

- 問** 地域学校協働本部を設置し地域と学校の連携・協働の推進を。
- 答** 教育活動により地域との連携・協働が図られているため、設置は考えていない。今後も地域人材を活用できるよう努めていく。

自閉症・情緒障がい特別支援学級について

- 問** 自閉症・情緒障がい特別支援学級の設置を求めるが、考えは。
- 答** 各教科と自立活動のバランスについて、さまざまなケースを想定し、十分に検討を重ねた上で、判断していく。



かがやき中央
小坂 和輝

晴海西小通学路の安全のため れいめい橋公園通り信号機設置

問 朝潮運河沿いに住む晴海西小学校の児童は、通学時にれいめい橋公園通りを渡る必要がある。横断歩道に信号機を設置しては。
答 通学路は、道路管理者の区や月島第三小学校の保護者、交通管理者の月島警察署と現場確認を行った上で設定している。交通状況の変化に応じ、月島警察署が必要性を検討するものと認識。

政策に子どもの声を反映する手法

問 こども基本法により、子どもの声の施策への反映が求められるが、(1)どのように反映していくのか。(2)委員会などへの参加は。
答 (1)チームカーボンゼロに中高生が参加するなど、意見反映に取り組んでいる。第三期中央区子ども・子育て支援事業計画を策定する際、アンケート調査を行う予定。(2)参加は予定していない。

その他質問事項 ①災害時の備え ②感染症パンデミックの予防計画 ③社会的責任調達指針 ④晴海西分校の学年編成 ⑤学校内学童とプレディの場づくり ⑥18歳の壁をなくす共生ケア ⑦ふくしの総合相談窓口と学校連携 ⑧まちづくり協議会へ晴海フラッグ住民の参加 ⑨元佃のまちづくり ⑩月島再開工事の安全、祝日工事中止、コミュニティ維持 ⑪市場跡地の浴恩園を活かした再整備



中央区議会公明党
墨谷 浩一

防災・減災の更なる強化について

問 晴海フラッグの入居が始まり、晴海3丁目から5丁目を対象区域とする新たな防災拠点が晴海西小・中学校に開設されるが、防災対策の推進で留意する点は。今後の取り組みの方向性は。
答 防災拠点の活動に関わりをもっていただくことや、「防災」をテーマに生まれる交流を地域コミュニティの醸成に結び付けていくことが重要。今後は、より多くの方に参加していただける訓練の実施に向け防災拠点運営委員会の活動支援を強化していく。

ターを配置したが、本区での支援状況や強化策について考えを。
答 見守り体制の構築等を進めてきたが、国のヤングケアラー支援に関する法制化の動きを注視しつつ、都の支援マニュアルを活用し、早期把握と子どもを尊重した支援体制づくりに取り組む。

消費者を守る取り組みについて

問 中央区消費生活センターでは、被害防止策をさまざま実施している。人口増加や高齢者増加を見据え、消費者庁の消費者ホットライン「188(いやや)」等も含めて情報発信を強化する考えは。
答 区ホームページ等の各種媒体を通じ、正確で迅速な情報発信に努めるほか、民生・児童委員協議会等と連携し対面での情報提供の機会を増やす。188については、機会を捉え、周知していく。

子どもを守る取り組みについて

問 港区は、潜在的ヤングケアラーの早期発見や家庭状況の把握から適切な支援につなげるため、ヤングケアラー・コーディネー

環境対策の取り組みについて

問 持続可能な社会に向け、現行のプラスチック製容器包装の回収に加え、製品プラスチックについても回収、資源化を進めては。
答 他自治体を参考に、プラスチック製容器包装とプラスチック製品の一括回収による資源化の拡大に向け、積極的に取り組む。

その他質問事項 超高齢化社会に対応する取り組みについて



士魂の会
白須 夏

中央区の森の未来に向けて

問 森林保全活動で発生した間伐材の活用方法や活用割合は。
答 「本の森ちゅうおう」の家具など、区民に身近な施設や環境

イベントで活用してきたところ。令和2年度および3年度に間伐を実施した矢沢地区では、全間伐量のうち約7割を活用している。

火災対策強化について

問 火災への備えには、区民等が学ぶことも重要。今後の考えは。
答 防災拠点や防災区民組織等による初期消火訓練への支援、住宅火災報知器の購入あっせん等を実施している。今後も関係機関と連携を図り、防火意識のさらなる向上等に取り組んでいく。

その他質問事項 ①少子化防止について ②高齢者の医療・介護サービスの充実について



中央区議会都民ファーストの会
アルール うた子

災害対策等に関する 取り組みについて

問 感震ブレーカーの設置事業について、区から対象世帯へ直接機器を送るプッシュ型で実施すべきと考えるが、見解は。

答 機器の特性の周知や、医療機器など各家庭の使用状況の把握が重要。申請受付時に、特性の説明や状況などを伺うコールセンターを設置することで、一人一人に即した対応をしていく。

安全なまちに向けての 無電柱化について

問 都の無電柱化を促進する事業への参加状況と今後の予定は。
答 現在、晴海において調整を図っている。今後も国や都など関係機関と連携し、無電柱化に向けた取り組みを一層推進していく。

その他質問事項 ①帰宅困難者対策 ②マンション防災対策の推進 ③防災訓練 ④物資の備蓄品 ⑤財源に関する問題

委員会の活動（令和6年1月～3月）

常任委員会

企画総務

〔議案の審査〕

- ◆令和5年度中央区一般会計補正予算
- ◆中央区長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例等の一部を改正する条例
- ◆中央区特別区税条例の一部を改正する条例

ほか7件

〔主な報告事項〕

- ◆令和6年度都区財政調整方針等について
- ◆特殊勤務手当の支給額の改定等について
- ◆投票区の見直しに係るパブリックコメントの実施結果等について

ほか10件

区民文教

〔議案の審査〕

- ◆中央区事務手数料条例の一部を改正する条例
- ◆中央区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例
- ◆中央区立学校設備使用料条例の一部を改正する条例

〔主な報告事項〕

- ◆戸籍法改正に伴う電子証明書提供用識別符号の発行に係る事務手数料の変更について
- ◆住民基本台帳による世帯と人口の動き
- ◆城東小学校並びに晴海西小学校及び晴海西中学校の学校施設開放について

ほか6件

福祉保健

〔議案の審査〕

- ◆中央区介護保険条例の一部を改正する条例
- ◆中央区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆中央区国民健康保険条例の一部を改正する条例

ほか15件

〔主な報告事項〕

- ◆女性福祉資金の貸付けの廃止について
- ◆個人番号を利用する事務の追加及び当該事務で利用する特定個人情報の設定について
- ◆後期高齢者医療制度保険料率の改定等について

ほか12件

環境建設

〔議案の審査〕

- ◆中央区道における道路構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例
- ◆中央区立公園条例の一部を改正する条例
- ◆訴えの提起について

ほか3件

〔主な報告事項〕

- ◆太陽光発電所の整備スケジュールの変更について
- ◆区管理街路樹等における特定外来生物（ツヤハダゴマダラカミキリ）の被害状況と対応について
- ◆朝潮運河歩行者専用橋の名称について

ほか8件

特別委員会

まちづくり・都市基盤対策

〔主な報告事項〕

- ◆隅田川テラスにおけるスロープ整備について
- ◆鉄道駅におけるエレベーター等の設置状況について
- ◆まちづくり協議会の報告について

子ども子育て・高齢者対策

〔主な報告事項〕

- ◆「中央区保健医療福祉計画2020」中間年の見直しについて
- ◆中央区立知的障害者生活支援施設条例の規定整備について
- ◆中央区立児童館（堀留町・佃・勝どき）の指定管理者候補事業者の決定について

ほか10件

地域活性化対策

〔主な報告事項〕

- ◆シティプロモーションの推進について
- ◆入船湯の廃止について
- ◆八丁堀区民館改築に伴う休館について
- ◆中央区ビジネス交流フェア2023の開催結果について

防災等安全対策

〔主な報告事項〕

- ◆中央区地域防災計画の修正（素案）について
- ◆帰宅困難者一時滞在施設の確保状況等について

令和5年第2回臨時会のあらまし

第2回臨時会は、令和5年12月20日から22日までの会期3日間で開かれました。

本臨時会では、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の支給や子育て世帯への給付金の支給に伴い、15億8,724万円を追加する補正予算案を全員賛成で可決しました。

請願の審査結果

- ・浜町公園の工事を一旦立ち止まることを求める請願（環境建設委員会 付託）
令和6年2月27日 不採択
- ・議会のインターネット中継に関する請願（議会運営委員会 付託）
令和6年3月28日 不採択

予算特別委員会のあらまし

予算特別委員会の設置

予算特別委員会は、3月5日の本会議において委員16名をもって設置され、令和6年度中央区一般会計予算、令和6年度中央区国民健康保険事業会計予算、令和6年度中央区介護保険事業会計予算、令和6年度中央区後期高齢者医療会計予算のそれぞれの審査について付託を受けました。

本会議散会后、議長招集による初の委員会が開会され、委員長には塚田秀伸委員が、副委員長には磯野忠委員が選出され、即日就任し、本委員会の構成が行われました。

予算特別委員会委員

【○委員長 ○副委員長】	
◎塚田 秀伸 (自由民主党)	ほづみゆうき (かがやき中央)
○磯野 忠 (自由民主党)	田中 広一 (公明党)
原田 賢一 (自由民主党)	堀田 弥生 (公明党)
海老原崇智 (自由民主党)	渡部 恵子 (区民クラブ)
竹内 幸美 (自由民主党)	奥村 暁子 (日本共産党)
田中耕太郎 (自由民主党)	永井 佳代 (立憲民主党)
小坂 和輝 (かがやき中央)	上田かずき (維新)
高橋 元気 (かがやき中央)	アルールうた子 (都民ファースト)

令和6年度各会計の当初予算額と概要

会計区分	令和6年度	令和5年度	増減率
一般会計	1,335億2,190万4千円	1,483億9,376万4千円	△10.0%
国民健康保険事業会計	144億4,678万5千円	140億4,440万4千円	2.9%
介護保険事業会計	97億4,557万1千円	92億6,060万7千円	5.2%
後期高齢者医療会計	38億207万9千円	35億283万6千円	8.5%
合計	1,615億1,633万9千円	1,752億161万1千円	△7.8%

一般会計予算は1,335億2,190万4千円で、前年度当初予算1,483億9,376万4千円に比べ148億7,186万円、10.0%の減で、当初予算として3年ぶりの減少となりました。

また、歳出総額から公債費を除いた、いわゆる政策的経費である一般歳出についても10.2%の減となります。

前年度予算に比べ減となった主な要因は、住民情報システムの標準化(16億円増)、子ども・子育て支援給付(11億円増)、児童手当の拡充(9億円増)の増などがあるものの、晴海西小学校・晴海西中学校の整備(114億円減)、晴海特別出張所等複合施設の整備(63億円減)、市街地再開発事業助成(37億円減)、晴海地域交流センター「はるみらい」の整備(11億円減)の減などによる

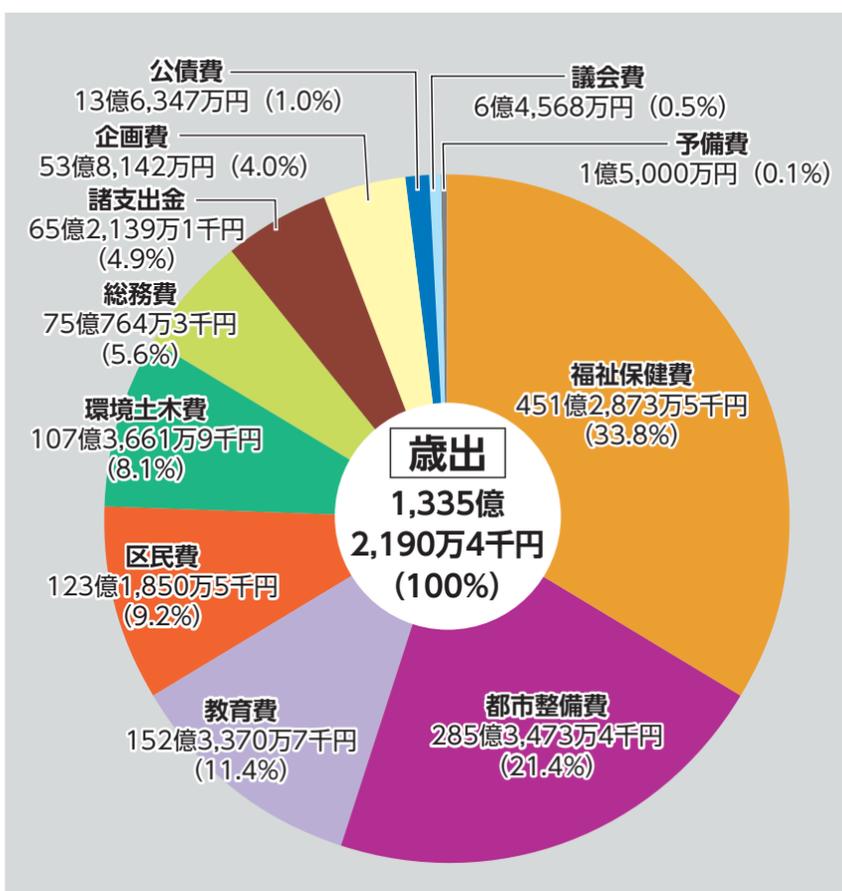
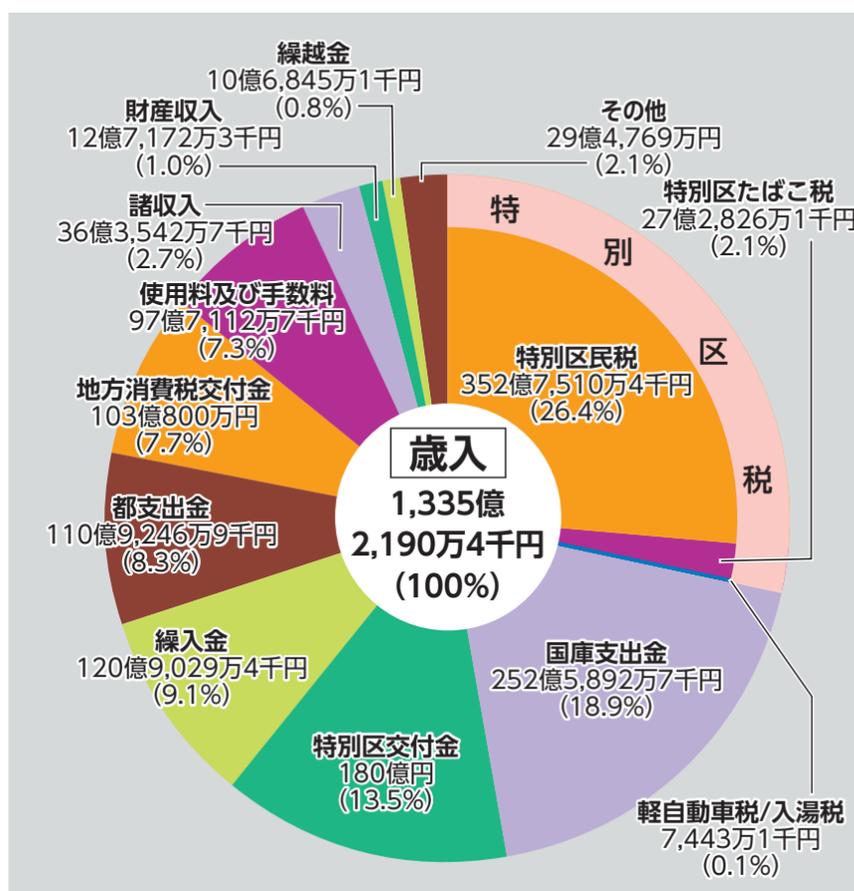
ものです。

国民健康保険事業会計予算は144億4,678万5千円で、国民健康保険事業費納付金の増などにより、前年度当初予算に比べ4億238万1千円、2.9%の増となっています。

介護保険事業会計予算は97億4,557万1千円で、居宅介護サービス等給付費などの保険給付費の増などにより、前年度当初予算に比べ4億8,496万4千円、5.2%の増となっています。

後期高齢者医療会計予算は38億207万9千円で、保険料等負担金などの広域連合納付金の増などにより、前年度当初予算に比べ2億9,924万3千円、8.5%の増となっています。

令和6年度一般会計当初予算の内訳



千円単位の金額は、それぞれの数値を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。また、構成比(%)については、端数調整をしているため、合計とは一致しない場合があります。

3月7日 予算特別委員会



審査の概要

本委員会は、令和6年度における本区行政運営の大綱をなし、その方針を決定する本予算案に対し、現下の社会経済情勢を踏まえつつ、区民の信託に応えるため、3月5日の本会議での付託以来、延べ12日間にわたり、慎重に審査を行いました。

3月7日から、まず一般会計歳入予算より一括して質疑を開始し、次に一般会計歳出予算、さらに国民健康保険事業会計歳入歳出予算、介護保険事業会計歳入歳出予算、後期高齢者医療会計歳入歳出予算について一括して質疑を行い、3月25日には全ての審査を終了しました。

これに伴い、各会派の態度表明が行われ、最後に各会計歳入歳出予算について、起立により採決を行い、起立多数でいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計予算に対する各会派の態度表明

中央区議会自由民主党議員団 賛成

- ◆我が会派が提出した重点政策要望が多く反映され高く評価します。
- ◆一方で、育児や介護など日常生活において困難さを感じている方々も増えていることから、支援が行き渡る施策の充実を要望します。
- ◆区有施設の老朽化への対応や新たな施設の区債償還、災害に強いまちづくり、都市基盤整備など中長期的課題が山積するなかで、弾力性のある財政運営に引き続き努めていただくよう要望します。

かがやき中央 賛成

- ◆新たな情報化基本方針での「書かない、行かない窓口」の実現。広く意見募集し事業に反映するオンラインプラットフォームの構築。
- ◆ベビーシッター利用支援事業拡大とアウトリーチのさらなる充実。
- ◆災害時たすけあい名簿の外部提供への同意割合の抜本的な改善。
- ◆探究的な学び、協働的な学び、デジタルシチズンシップ教育の推進。子どもの声を聴取し政策反映する『こども基本条例』制定を求める。

中央区議会公明党 賛成

- ◆おくやみコーナーの開設や区内共通買物・食事券の拡大、幼稚園の弁当給食提供や預かり保育の全園拡大、学校図書館支援センターの設置、小中規模マンションの防災対策支援事業等の計上を評価。
- ◆耐震改修費用助成拡大、福祉センターでのお泊まり訓練実施等の防災対策、介護サービスの質の向上と人材の確保、水と緑あふれる豊かなまちづくり、江戸バス北循環運行ルートの見直しを要望する。

中央区民クラブ 賛成

- ◆歳入増加に向け現地消費型ふるさと納税制度による財源確保を。
- ◆『基本計画2023』の3つの道筋のもと「人がつながりまちもつながる安全安心なまちを目指す」ため新規・充実・継続全101事業の適切かつ着実な執行を。
- ◆重点五施策：災害に強いまちづくり、地域コミュニティの活性化、経済活性化、子どもの成長と豊かな学び、脱炭素社会の実現に期待。

日本共産党中央区議会議員団 反対

- ◆マイナカードを使用した口座振替受付サービスや保育所保育料補助金の交付事務など活用範囲の拡大、マイナ保険証への一本化は問題。
- ◆築地市場跡地は防災公園として活用できる広大な緑地として整備を。
- ◆環境に多大な負荷をかける大規模市街地再開発は見直しを。
- ◆エアコン設置費助成や教材費補助など高齢者や保護者負担の軽減を。
- ◆国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険の保険料引下げを。

中央区議会立憲民主党 賛成

- ◆社会情勢が予測困難な中、物価高騰などの喫緊の課題をはじめ、将来20万人都市を見据えた中長期的な課題に対しても重点が置かれたことを評価いたします。
- ◆限られた財源の効果的な活用により、中央区基本計画2023の着実な推進、そして、災害に強く安全安心なまちづくりの強化や子どもから高齢者まで幅広い世代の区民生活の底上げに期待いたします。

日本維新の会 賛成

- ◆現状課題を意識しながら昨年対比10%減に抑えた予算を評価する。
- ◆但し、過去から漫然と続いている事業の再構築と、新規流入者に対する意見聴取および政策への反映に向けた取り組みを強化すべき。
- ◆税収増を活かす、若手中心の機動的組織編成の再検討も要望する。

中央区議会都民ファーストの会 賛成

- ◆一般会計予算減少でも福祉保健予算を18億円増とし、子どもや高齢者への支援が強化されていることを評価。
- ◆区民が相談し易い環境整備政策を評価し寄添う行政サービスを要望。
- ◆財源増の取組みを強く要望し、健全で持続可能な財政運営を求める。

区議会だよりはアプリでも!

区議会だよりは、スマートフォン用アプリ「マチイロ」で配信を行っています。

利用方法

右のQRコードからダウンロードし、「お住まいの地域」を「東京都中央区」に設定してください。



